

山元町小・中学校再編の整備方針（案）の取りまとめについて

1 山元町小・中学校再編検討の経緯

全国的な少子高齢化や先の東日本大震災の影響等により、本町においても児童生徒の減少が進んでいる状況です。

このような状況の中、教育委員会では平成25年3月に「山元町小・中学校教育環境整備方針」を策定し、「長期的な視野から小学校2学校区、中学校1学校区」とする学校再編に関する基本方針を示し、震災により被災した中浜小学校と山下第二小学校の併設状態解消を最優先に検討し、併せて将来の学校再編について幅広い視点から検討が必要であるものとしたものでした。

しかし、本町の人口は前回の再編を検討した平成25年当時の予想を上回る減少傾向にあり、これに伴い児童生徒数も予想以上に減少が進み、近い将来、小学校での複式学級の編制や中学校では生徒数減少による専門教科教員の講師対応や部活動への影響を考慮するとともに、「児童生徒にとってよりよい学び（学校生活）ができる環境をつくる」ことを第一義に、改めて小・中学校再編の検討を行ったものです。

なお、検討にあたっては「山元町小・中学校再編検討委員会」を平成29年11月に立ち上げ検討・協議を行っておりましたが、平成30年10月に検討がまとまり「山元町小・中学校再編検討報告書」として、教育委員会に対し報告を受けたものです。

(1) 検討委員会の設置 検討委員20名、延べ14回委員会開催

(2) 住民意向調査の結果

①地域住民意向調査（18歳以上1,200人対象）※無作為抽出・・・回収率42.3%

②小・中学校保護者意向調査（保護者625人対象）・・・回収率86.9%

③町内幼稚園・保育所保護者意向調査（232人対象）・・・回収率85.8%

【意向調査結果】

調査結果から見ると、全回答の7割以上が「今後、何らかの形で学校再編に向けて検討していく必要がある」と考えていることが伺えた。

2 小・中学校再編の方針

検討委員会にて審議し取りまとめられた最終報告書を尊重し、平成25年度策定の「山元町小・中学校教育環境整備方針」を一部見直し、「小学校1学校区」、「中学校1学校区」とし、今後の小・中学校再編の整備方針と位置付けるものとする。

(1) 小学校の再編の方針

①方向性

「小学校は将来的に1学校区として再編を進める」

※中学校再編後、児童数の推移等を見据えながら、目標年を設定し最終的に小学校1学校区として調整し、目標は概ね10年後を目途として再編を進める

②課題等

・地域、保護者、子どもたちへの説明、整理

- ・再編時期の決定と小中一貫校（義務教育学校、併設型小中学校）も視野に、閉校・開校に向けた事務・手続等の洗い出し
- ・再編に向けた校地・校舎等の検討、通学の安全と手段の検討
- ・廃止校の校地・校舎等施設の活用策の検討

(2) 中学校の再編の方針

①方向性

「中学校は早期に1学校区として再編を進める」

※今後、坂元・山下中学校の各種交流活動を推進し、地域も含め子どもたちがスムーズに1つの中学校に再編できるよう努める。2021年4月を目途に、現山下中学校を活用し再編を進める。

②課題等

- ・地域、保護者、子どもたちへの説明、整理
- ・坂元、山下中学校の閉校・再編後の開校に向けた事務・手続等の洗い出し
- ・校舎及び敷地におけるキャパシティの確認⇒改修・増築による大綱の可能性の確認
- ・通学の安全と手段の検討
- ・廃止校の校地・校舎等施設の活用策の検討

3 学校再編と将来の学校教育の充実

..... ※整理中

4 今後の学校再編の進め方

(1) 住民説明会の開催

日時 平成30年12月2日（日）

10:00～ 坂元地域交流センター「おもだか館」 2階 防災研修室

13:30～ 山下地域交流センター「ひだまりホール」 3階 研修室

(2) パブリックコメントの実施

期 間 平成30年11月7日（水）から平成30年12月6日（木）

受付方法 町ホームページ意見提出用フォーム

郵便（山元町浅生原字作田山32番地 学務課あて）

FAX（37-5119）、持参のいずれかにて受付いたします。

様 式 郵便、FAX、持参の場合は特に定めはありませんが、住所、指名、意見を記載願います。